

情報の一本化、市民の自主運営、がれきリサイクル97%

— 東日本大震災の東松島市元総務部長の講演から —

2月10日大磯町防災リーダー養成研修会があり、東松島市元総務部長小野弘行氏の講演を聞きました。東日本大震災では宮城県東松島市は津波に襲われ大きな被害を受けました。しかし、初動対策のおかげでスムーズな立ち上がりが出来たとのこと。その初動対策とは…。

① 全ての情報を対策本部に集め一本化、市民には防災無線を通じて市長から直接伝達指示し、混乱・デマの発生を防いだ。② 避難所は市民の自主運営に任せ、市の職員は他の活動に専念した。③ 建築業者のアイデアを採用して、災害がれきを14品目に分類し約97%をリサイクルした。(後に東松島方式と呼ばれる。)

〔今後に備える対策〕

- ① 津波監視カメラの設置 太陽電池を利用して24時間監視
- ② エネルギーを自給するため自然エネルギーの活用120%を目指す。
- ③ 拠点備蓄倉庫1500㎡の設置 (既に完成済み)

石神台から3名が参加。講演を聞いてとても参考になりました。(H記)



「防災リトルくらぶ」第2弾

…サバイバルクイズとフィールドワーク



通学途中に震度7大地震発生！「3つのうち、キミはどの行動を選びますか？」「どうして？」…次々とサバイバルクイズの問題が出され、子供たちに挙手の回答が求められていきます…。1月21日15:00から「第2回防災リトルくらぶ」“小学生が考える防災活動”が行われました。

そして、クイズの後は、実際に通学路を歩いて「どんな危険があるのか、安全な場所はどこか」などフィールドワーク（野外研究）を行いました。高木副会長をリーダーに親子8人が参加し「考える」「知る」「見る」をテーマに子供たちの防災訓練が行われました。

恒例の月京の
“どんと焼き” 1月27日

にこにこマークは無事の印

みんなで出そう黄色い旗

毎月の第1土曜日 午前中



4月は7日
5月は5日
です。

「いざ」という
時にあわてない
訓練をしよう！

自主防災キャンペーン行動を実施

防災倉庫の保管物質の紹介、街頭消火器の設置場所の確認をテーマにして、2月11日、中央公園を会場に今年度最後の「キャンペーン行動」を展開し、女性23、男性25、計48名が参加しました。

◎食料品、飲料水の保管量は？→「アルファ米（非常食）1500食、他にパン、ビスケット」、「飲料水が320本（1.5ℓボトル）96本（500mlボトル）」…。

「緊急時の炊き出しや災害弱者用に備蓄しています。」◎街頭消火器は？→「ゴミ置き場の近くに設置されています。隣近所で“共助”して初期消火に役立てましょう。」大勢の参加、ありがとうございました。

